

特集 あおもりで働くということ

青森に
地元就職したひとと、
戻ってきたひと、
それぞれの立場から感じた
青森での子育てや働き方、
青森で暮らす魅力などを
語っていただきました。

ずっと
青森在住で
働いている
ひと

青森に
戻ってきて
働いている
ひと

株式会社青森ダイハツモーターズ
総務部【総務G】チームリーダー
係長
今有紀さん

NPO法人あおもりIT活用
サポートセンター
事務局長・理事
本田 政邦さん

青森市生まれ。県内の高校を卒業後、青森ダイハツモーターズに入社。10歳・5歳の子どもを持つママ。あおもり女子就活・定着サポーターズ、通称「あおもりなでしこ」メンバーとしても活躍。

青森市生まれ。父親の仕事の関係で幼少期から全国を転々とし、大学を卒業後は都内に就職。7年前に青森市に戻り、現職に就く。12歳・5歳・2歳の子どもを持つパパ。

東京暮らしや子育てを経て青森の良さを実感

「青森県で暮らすことを決めましたっけは？」

本田 父親が体調を崩したことで、仕事も決めずに、両親がいる青森に移り住むことを決めました。もともと青森には小学生時代の4年間しか住んだことがなく、イメージは「おばあちゃんの家があるところ」ってことぐらいでした。青森は首都圏に比べると職業選択の幅が少ないなど感じたものの、こっちに来て半年間は積極的に地域のコミュニティに参加し、縁あって現在の職に就きました。青森に来てから出会った妻と結婚して、子どもにも恵まれ、現在に至ります。

今 私は親元を離れる不安があり、高校卒業後は地元企業に就職すると決めていました。県外に就職をした友達もいますが、私にはその選択はありませんでした。



働く場所・暮らす場所としての青森県の長所って？

本田 バーベキューや釣りが趣味の自分としては、車で20分のところまでそれが叶うのは嬉しいですね。源泉掛け流しの温泉だって、徒歩圏内。東京じゃ考えられないことです。都会と比べて3密になりにくいのには安心感がありますね。

今 自然豊かで公園も多いから、子育てがしやすいですよ。山や海も近くて、遊ぶところに困らないというか。子どものストレス解消にもなるし、楽しむ子どもを見ると親も嬉しい。自分が若い頃は、何もないとか、はやりの服が買えないとか、悪い部分に目が行きがちでしたが、子どもが生まれてから見方が変わりました。あと、やはり子育てをする上で親のサポートが受けられることも大きいですね。

本田 確かに、今となつては自分が都心で子育てするイメージは湧かないですね。両親のサポートがあるのはかなり心強いです。おかげで夫婦二人の時間を楽しむこともできますし。

